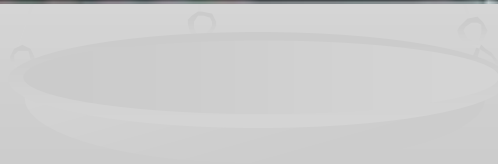


# 九州大学大学院医学系学府医療経営・管理学専攻の 理念と実践



# 専攻開設の目的

医学系学府医療経営・管理学専攻は、アメリカの公衆衛生系大学院の医療経営管理学専攻を模範とした公衆衛生系の専門職大学院であり、専攻の目的は、「専門分化した医療技術を、人々が『安心・納得・一体感』を持って生活し、人生を過ごせるよう統合・調整組織化できる高度な専門職業人を育成すること」である。

# 本専攻の教育・研究

本専攻の教育は、疫学・生物統計学等を基盤に、欧米の医療経営・管理学系大学院の中核学科である医療政策・医療経営・医療管理・医療コミュニケーションの分野で構成し、医療・保健に関する幅広い問題について総合的な教育研究を行っている。

# 九州大学大学院医学系学府 医療経営・管理学専攻

## 専門職大学院のめざすもの

### 医療経営・管理に係る「高度な専門職業人」を育成する場

#### Vision

- 良質適切な医療提供
- 職務満足
- 経営効率

#### Mission

- 「安心・納得・一体感」をもった医療を提供し、
- 組織調整できる専門職業人の育成

#### Goal

- 目的の明確化
- 具体的対策施行
- 結果評価
- システム改善構築
- 医療問題解決

# 医療経営・管理のプロセスと問題解決の視点

医療成立



患者職員の満足



治療・ケア



診断



医療機関



患者

医療崩壊？

診療結果と  
患者・職務満足度？

診療プロセスとコスト

アクセス？

1. 医療政策の視点
2. 医療経営の視点
3. 医療管理の視点
4. コミュニケーションの視点

測定  
する  
能力

実施  
する  
能力

推計  
する  
能力

設計  
する  
能力

# ○ 教育体系（平成27年度）



# 他専門職大学院との相互履修科目

専攻名	科目名	単位数
経済学府産業マネジメント専攻	マーケティング戦略	2
	産学連携マネジメント	2
	知識マネジメント	2
	企業価値創造とM&A	2
人間環境学府実践臨床心理学専攻	産業・組織臨床心理学特論	2
	司法・矯正臨床心理学特論	2
法科大学院	インターネットと法	2
	企業法務	2









# 教員組織の特徴

教員組織としては専攻として主要と認められる必修科目は、医学研究院基礎医学部門の医療経営・管理学講座の教員7名が担当し、他の公衆衛生系の共通の基盤となる科目に関しては、社会環境医学講座の教員7名と医学研究院医学教育部門の医学教育講座の教員2名が担当している。そして、臨床医療教育に関しては、内科学講座、外科学講座の教員、九州大学病院の教員及び薬学研究院の教員が担当し、医療・経営管理学教育、公衆衛生系の共通の教育、臨床医療教育の3層からなる教員組織になっていることが特徴である。

# 修了要件

非医系学生は、「医療学基礎科目群」を4単位、「共通基礎科目群」6単位、「必修専門科目群」12単位、「選択専門科目群」の履修を含めて2年間で30単位以上の履修を修了要件としている。また、医系学生は、「共通基礎科目群」6単位、「必修専門科目群」12単位、「選択専門科目群」の履修を含めて2年間で30単位以上の履修を修了要件としている。

# 卒業成果物

医系学生、非医系学生ともに、2年以上在学し、指定の授業科目から30単位以上を修得し、その他当専門職大学院の定める教育課程を修了することとしている。なお、演習の単位認定に最終成果物の作成があり、最終成果物を完成させることが学位授与の要件となっている。

# 本専攻の中期目標

医療経営・管理学専攻(専門職大学院)では、保健医療の実践にあたり中心的役割を担えるよう、専門的知識を持った人材を養成し、「現場の問題に対し、目的を明確にし、具体的に対策を組み立て、結果を評価し、改善する能力を育成すること」を中期目標としている。

# 演習の重視

演習においては、学生の希望と指導教員の専門性をかんがみ、研究を指導する演習の選択について1年次前期に学生と教員とのマッチングを行っている。演習指導にあたっては、教員は学生の希望するテーマに沿いつつ理論と実務の統合を念頭に置き、現場の実務を踏まえた研究・調査を行い成果物とすることができるよう配慮し、問題を明確にして実現可能な対応策が提言できるような問題解決型の研究方法をとるなど、多様な工夫がなされた研究指導が行われている。



# 平成26年度の最終成果物

- 多面的事業評価手法を用いたA大学病院助産師外来の定量的評価
- "外来患者の逆紹介はその後の入院率を減少させるか？  
～プロペンシティスコアマッチングを用いた検証～"
- 診療報酬明細書データを用いた糖尿病疾病費用分析
- II型糖尿病患者の受診行動の違いによる新規合併症発生率の検証
- 2型糖尿病患者に対するフットケアの有効性評価
- 終末期がん医療における在宅医療と病棟医療の費用に関する比較研究
- 高齢者にやさしいまちのつくり方-志免町「しめ活」の取り組み-
- 疾病管理会社による非受診糖尿病患者に対する受診勧奨の効果に関する研究
- 陽圧呼吸管理患者における経腸栄養と予後に関する研究

# 平成26年度の最終成果物

- 福岡県後期高齢者医療制度の透析患者における診療の地域格差に関する研究
- 九州大学病院総合周産期母子医療センターの院内助産システムの構築に向けて
- 地域在住高齢者に対する介護予防プログラム
- 急性期病院における地域包括ケアシステムへの支援の構築
- 山間部の高齢者健康コミュニティモデルにおける薬剤師の役割の開発
- 認知症者を有する家庭への支援マニュアル(訪問看護師用)の作成
- 当院における栄養状態と入院医療費の検討
- 冠動脈造影検査を繰り返す患者の背景に関する研究
- 標準模擬患者(Standardized Patients [SP])の養成に関する基礎的研究

# 学生の進路支援

学生の進路先は、大学、医療経営・管理、シンクタンク、医療機関、医療系団体、行政など多岐にわたるが、医療政策学、医療経営学、医療管理学、医療コミュニケーション学を必修の専門知識として、それぞれの進路先の現場で応用できる教育課程や教育内容の水準を維持していると考えている。

# 卒業生の主な進路先（大学教員27名）

- 愛知みずほ大学大学院教授、純真学園大学教授
- 山口大学経済学部教授、星城大学経営学部教授
- 名桜大学教授、福岡女子短期大学教授
- 福岡大学准教授、産業医科大学准教授、九州女子大学准教授、聖マリア大学准教授2名
- 滋賀医科大学医学部附属病院講師、長崎県立大学講師
- 福岡県立看護大学講師、産業医科大学講師、帝京科学大学講師、純真学園大学准教授
- 保健医療経営大学講師
- 産業医科大学助教・九州歯科大学講師・長崎県立大学助教
- 西南女学院大学助教・国際医療福祉大学助教3名
- 福岡県立大学助手・福岡大学医学部看護学科助教

# 卒業生の主な進路先(医療経営・管理職49名)

■ オアシス第二病院院長、村上華林堂病院理事長、福岡記念病院副院長、日田済生会病院副院長、毎日新聞研究会附属診療所内科部長、医療法人恒心会理事、クリニック院長(6名)、歯科医院院長(2名)

■ 医療法人山桃会事務長、聖フランシスコ病院事務長、医療法人敬天会経営管理部長、嶋田病院診療支援部部長、福岡市医師会統括部長

■ 九州大学病院看護部長、副部長(2名)、福岡大学病院看護部長・副看護部長

■ 九州大学病院事務部(1名)、久留米大学病院事務部(2名)

■ 聖路加国際病院経営マネジメントスタッフ(5名)、医療法人博悠会事務管理職、福岡市医師会成人病センター企画情報部、九州中央病院事務部(2名)、熊本中央病院事務部、医療法人愛仁会事務部、静岡がんセンター事務部、北九州総合病院事務部(3名)

■ 済生会熊本病院医事課(3名)

■ 医療系株式会社役員(5名)

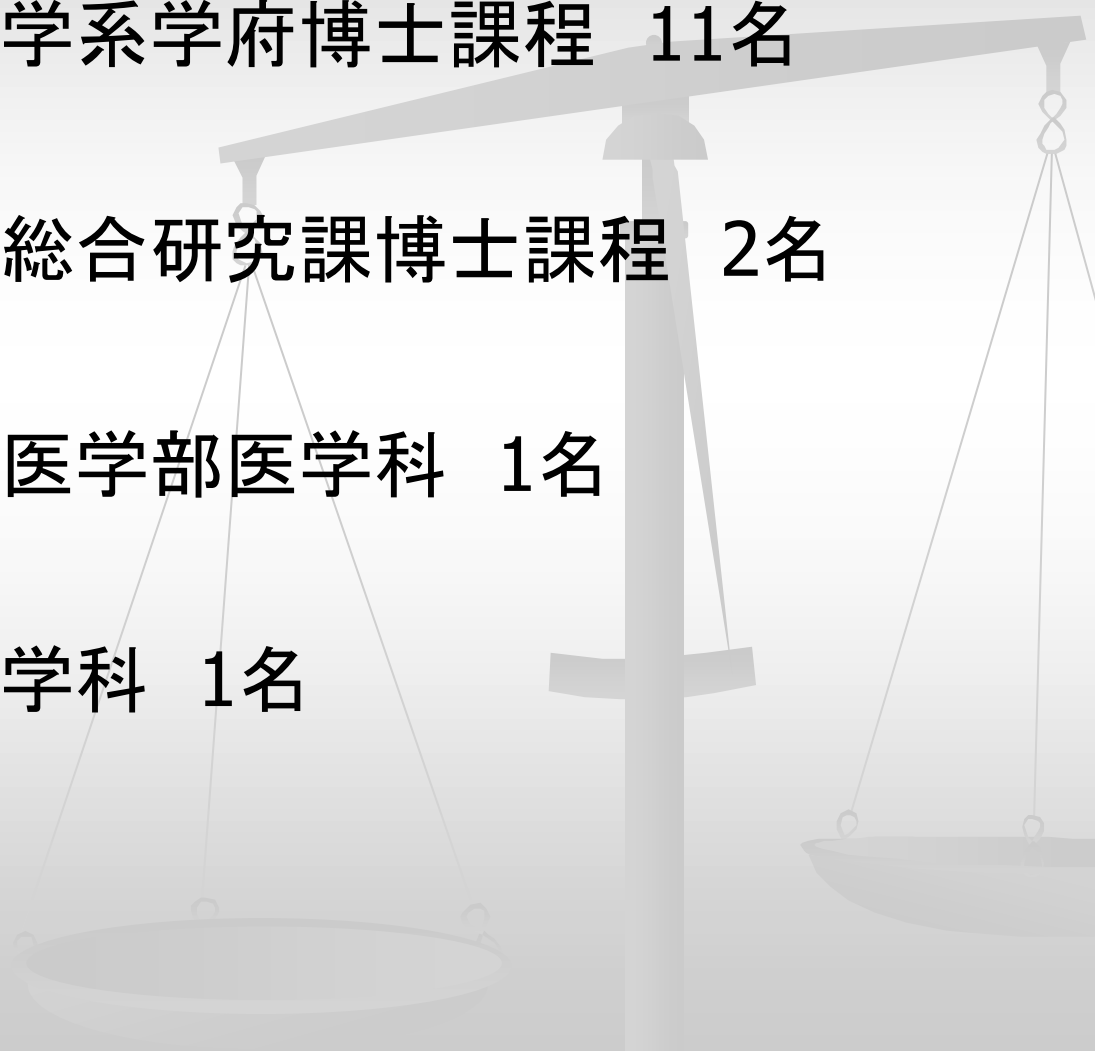


# 卒業生の主な進路先

(公務員9名、医療団体14名、シンクタンク23名)

- 厚生労働省、千葉県、福岡県(3名)、熊本県、北九州市(3名)、福岡県新宮町
- 健康保険組合連合会(2名)、日本看護協会(5名)、日本医療機能評価機構(4名)、日本医師会総合研究機構(2名)、社会保険診療報酬支払基金
- 株式会社 麻生 (7名)、損保ジャパン・リスクマネジメント
- 東京海上日動メディカルサービス株式会社、日本総研
- システム環境研究所(3名)、みずほ情報総合研究所(2名)
- 新日本監査法人医療福祉部、日本経営(4名)、
- 明治住友生命、三菱UFJリサーチ&コンサルティング
- メディカル・リサーチ・インスティテュート

# 進学

- 九州大学大学院医学系学府博士課程 11名
  - 筑波大学人間科学総合研究課博士課程 2名
  - 富山医科薬科大学医学部医学科 1名
  - 群馬大学医学部医学科 1名
- 

# 専門実践教育訓練給付金

- 当専攻の社会人学生には、平成27年度入学者より専門実践教育訓練給付金が適応され、受講費用の4割が厚生労働省より支給されます。対象者は、通算して2年以上の雇用保険の被保険者期間(2回目以降に受給する場合は通算して10年以上の被保険者期間)を有し、2年間で卒業した者となります。2年間で卒業すると2割の追加支給がありますので、2年間で約80万円の納付金が返還されます。なお、長期履修生には適応されないので注意されてください。

# 博士課程

- 当専攻は大学院医学系学府医学専攻博士課程に参画しています。したがって、博士課程に進学して医療経営・管理学の研究を行い、学位を取得することも可能です。原則として、医療経営・管理学専攻専門職学位課程を修了し、当専攻が実施する博士課程予備試験に合格した者を対象とします。試験科目は統計・疫学と英語です。ただし、医師免許取得者で、当講座が医療経営・管理学専攻専門職学位課程修了と同等あるいはそれ以上のレベルの学力を有していると判断された者は、直接、博士課程に入学することも可能です。

○医療政策・経営学分野教授 馬場園明 [babazono@hcam.med.kyushu-u.ac.jp](mailto:babazono@hcam.med.kyushu-u.ac.jp)

○医療管理学分野教授 鴨打正浩 [kamouchi@hcam.med.kyushu-u.ac.jp](mailto:kamouchi@hcam.med.kyushu-u.ac.jp)

○医療コミュニケーション学分野教授 萩原明人 [hagihara@hsmp.med.kyushu-u.ac.jp](mailto:hagihara@hsmp.med.kyushu-u.ac.jp)



九州大学大学院 医学系学府  
医療経営・管理学専攻 学位記授与式





# おわりに

現在の医療は複雑高度化しており、医療経営・管理の専門家が不足している。医療スタッフにやりがいをもって働いてもらい、患者の満足度を高めるには、医療経営・管理を設計する能力が必要である。

また、医療に関する法律、診療報酬、官庁統計、リスクマネジメント、財務諸表、疫学、統計などに通じておくことも必要である。

しっかり現場に根を張って現実の問題に向かい合い、問題解決に向けて、エビデンスを根拠に論理が構築できるような高度専門職業人を育てることができれば、社会的に利益をもたらすことができると考えている。